

平成20年12月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 平成20年12月24日（水）午後1時32分～午後2時55分

2 場 所 市役所6階 604会議室

3 出席者 [委員] 富田常世委員長、古敷谷千賀子委員長職務代理者、清水三和子委員、守谷靖委員、鈴木秀昭教育長
[事務局] 大沢賢教育総務部長、赤岩克夫学校教育部長、藤田晃教育総務部次長、内野正行学校教育部次長兼学校教育課長、田中文雄教育施設担当参事兼教育施設課長、又吉春雄生涯学習担当参事兼生涯学習センター所長、安田政昭保健給食担当参事兼保健給食課長、村上光利教育総務課長、則武辰夫社会教育課長、中村藤司生涯スポーツ課長、金子美也子文化財保護課長、斉藤雅裕所沢図書館長、永井博彦教育センター所長、師岡林教育総務課主幹兼教育企画室長、嶋津文行学校教育課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長
[書記] 大部稔之教育総務課主査、皆川博幸教育総務課主査

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴人 なし

6 開 会

○大沢教育総務部長から、所沢市議会第4回定例会において、新たに守谷靖氏が教育委員会委員として議会の同意があった旨の説明がなされた。

○守谷委員あいさつ

○大沢教育総務部長が各教育委員を紹介し、また事務局職員が順次自己紹介を行なった。

○議案は、議案第34号から第36号までの3件と、追加議案第37号及び第38号の合計5件。「議案第36号 平成20年度教育費予算（3月補正）について」は、予算に関する審議のため、また「議案第37号 所沢市入学準備金貸付金の免除について」は、個人情報に関する審議のため、非公開とすることとしたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

7 議 題

議案第38号 所沢市教育委員会委員の議席について

大沢教育総務部長から説明がなされ、清水委員より、現状の議席のままでよいのではないかと、との発議があり、富田委員長の採決により、委員全員が賛成した。

議案第34号 所沢市社会教育委員会議規則の一部を改正する規則制定について
資料に則り、則武社会教育課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(富田委員長)

時代の流れ、市民のニーズに沿うものであると考える。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第35号 所沢市立所沢図書館設置条例施行規則の一部を改正する規則制定について

資料に則り、斉藤所沢図書館長から説明がなされた。

(古敷谷委員長職務代理者)

時間のある方は2週間で10冊でも借りたいのだろう。それによっていつも貸出中の本が発生する可能性はあると思うが、利用する方の利便性をその都度見直していけばいいと思う。

(清水委員)

利用者にとっては有難いことである。返却期限が守られないケースが増えるのではないかが気になるところだが、その場合には従来どおりの督促をしていくのか。

(斉藤所沢図書館長)

そういう懸念はありますが、早めに督促していきたいと考えています。貸出冊数を10冊までにすることで、利用が倍にまで増えるとは見込んでいません。調べ物の資料として利用したい方が、図書館のスペースの問題もあり、持ち帰りしたいという要望を受けて、貸出冊数を10冊に増やそうと考えました。小説など読み物として10冊借りていく方は、そう多くはないであろうと考えています。

(富田委員長)

コンビニができて返却しやすくなった面もあるのではないかと。

(斉藤所沢図書館長)

24時間利用できるという便利さはあると思います。また、3年前から公民館にも返却ポストを設置したので、利便性が向上していると思います。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第37号 所沢市入学準備金貸付金の免除について

資料に則り、村上教育総務課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(守谷委員)

本件は、貸付を受けている方のうち、返済が滞っている方の一部なのか、すべてなのか。

(村上教育総務課長)

権利放棄するのは、一部です。長期にわたって返済が滞り、履行期限から10年経過している、消滅時効に該当する方、及び、事情により返済が困難な方です。その他の返済見込みのある方については、引き続き催告していく予定です。

(清水委員)

督促の方法はどのようになっているのか。

(村上教育総務課長)

本件の方々も同様ですが、電話や文書、訪問により督促しています。

(清水委員)

返済能力が無かったのではないかと推測される事例があるが、審査はどのように行なわれているのか。

(村上教育総務課長)

民生委員の代表者、小・中学校の代表者、高等学校の代表者、福祉事務所長、社会福祉協議会の代表者の5名の委員で構成される審査会において、貸付金額、希望校、世帯の所得状況を勘案し貸付けの可否を審査していただいています。

(古敷谷委員長職務代理者)

返済されなくてもやむを得ないという前提があるのか。審査しても返済可能か否かは分からないと思う。また、貸付けの相手方は保護者だが、生徒本人に高校・大学卒業後に返済義務は生じないのか。

(村上教育総務課長)

これは基金で運用しているもので、基金の額は2,600万円と決まっています。その中で貸付けをし、返済していただくことで、次の方に対し新たな貸付けが可能となります。補助金等とは異なり、返済が前提ですので必ず催告して返済していただくよう努めているところです。また、貸付けの相手方は保護者なので、一義的には保護者に対して催告していくこととなります。

(古敷谷委員長職務代理者)

奨学金は生徒本人が返すことになっているように、借受人を保護者と生徒の連名にすることは出来ないのか。

(村上教育総務課長)

4月以降、こども未来部へ事務が移管される予定なので、ご指摘の点を踏まえて、きちんと事務引継ぎをしていきたい思います。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

第36号 平成20年度教育費予算（3月補正）について

資料に則り、村上教育総務課長、田中教育施設担当参事、金子文化財保護課長、又吉生涯学習担当参事、安田保健給食担当参事、永井教育センター所長から順次説明がなされた。

以下、質疑。

(守谷委員)

コンピュータの更新について、大幅な減額になっているが、見積り段階では分からなかったのか。

(村上教育総務課長)

見積りについては、平成19年度も小学校19校の更新を行なっており、それを踏まえて予算計上したものです。今回、業者の努力の結果、予定価格の70%を割る金額での落札に加えて、リース料率も90%に抑えられたため、当初の見込みに比べ低額となったものです。今後、より精度を高めた設計をし、予算計上していきたいと思えます。

(守谷委員)

落札価格が低くなったことによりサービスレベルが落ちるなど役務が減ったということはないのか。

(村上教育総務課長)

仕様書により性能等を定めて発注していますので、問題はないものと考えています。また、手数料についても、機器の調整等を教育ネットワークを構築した業者に引続きお願いしているので、心配ないと考えています。

(富田委員長)

予算編成時に比べてパソコンが安くなってきているので、賃借料も安くなっていると考えればいいのか。

(村上教育総務課長)

それも要因の一つと考えられます。今回、中学校についても60%台で落札されましたが、要望によりデスクトップ型になったため、安価になったと考えています。パソコンに関しては年々性能が上がり、価格が安くなってきているのは事実だと認識しています。

(富田委員長)

英語教育について、文科省からの委託金が3分の1に下がってしまったのか。各学校からの要望で決められるものと思うが、学校現場で困るようなことはないのか。

(永井教育センター所長)

この金額については、文科省、県からの指示に合わせるかたちになっています。早い段階で情報があつたので、金額については予め学校と調整し、決められた範囲で学校にお願いしています。

(富田委員長)

学校側からこうしたいという要望を受け、それを審査して決めたわけではないのか。

(永井教育センター所長)

大枠が先に示されたものです。県で委託先を増やしたので、1校あたりの額が減ったと聞いています。

(守谷委員)

小学校の先生が、外国語活動の導入でどうしたらいいのか困っていると聞くが、それについてはどうなのか。

(永井教育センター所長)

そのような現実もあるようなので、それを解決するために意欲的な取り組みをしている数校にお願いして、進め方のモデルケースを作っているところです。今後、教育センターでも実績、実践をもとに、各小学校に指導方法の周知を図っていきます。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

8 協議事項

○平成21年度全国学力・学習状況調査への参加について（学校教育課）

資料に則り、内野学校教育課次長から説明がなされた。

以下、質疑。

(守谷委員)

学期始めでの実施で、負担は大丈夫なのか。

(内野学校教育課次長)

南陵中学校は開校記念日なので後日実施となりますが、その他、学校からは特に問題ないと聞いています。教育課程への支障はないものと考えています。

(古敷谷委員長職務代理者)

昨年との違いは何か。

(内野学校教育課次長)

特に変更点はありません。

(清水委員)

昨年、調査実施後に新聞に問題が出ていたように記憶しているが、遅れて実施することに不都合はないか。

(内野学校教育課次長)

文科省に送付する前には実施できるので、所沢市のなかでは問題ないと思います。

(鈴木教育長)

新聞でも連日報道されているが、21年度に実施する結果については、県教委が要望しなければ結果を渡さないということのようです。どこまで公開するかは県も苦慮しているようです。今年は、県の段階では公表しているようです。大勢は、競争意識をあおるのはよくないとの意見のようですが、一方で、知る権利、学校にとって刺激になるので公開したほうがいいのではないかという意見もあるようです。このような意見の対立が激しくなると、訴訟が起きたりすることも考えられるという状況です。検証・改善サイクルの確立という目的がはっきりしているにもかかわらず、本質の議論から外れた方向に話しがいつてしまっているようで心配です。

(古敷谷委員長職務代理者)

何のためにするのか、ということだと思う。やるからには、自分の学校やクラスがどうなのかが分からなければならないと思う。それからが問題だと思う。足りないところに予算を付けるなど、プラス思考が必要である。

(内野学校教育部長)

使い方の問題ですが、所沢市でも県の委嘱を受けて山口中学校と泉小学校が、どう活用していくか研究しているところです。学びの改善プロジェクトというかたちで、活用について検討していく予定です。国、県、市独自の調査の融合、活かし方を考えていく必要があると思います。

(鈴木教育長)

今は、自分の学校と所沢市の平均値との比較はできるのか。

(内野学校教育部長)

比較できます。

(古敷谷委員長職務代理者)

それで、平均より低い学校に対しては、教育委員会が手立てを講じるべきで、そういうためのものだと思う。

(内野学校教育部長)

有効活用により学校を支援していきたいと思います。

(清水委員)

点数にばかり目が行きがちだが、併せて学習状況も調べているので、そちらのほうをもっと強調したらいいのではないかと思う。対保護者という観点からも、今後のやり方の目安になるのではないかと思う。

(内野学校教育部長)

どの分野が出来る、出来ないということに目が行きがちなのは事実です。山口中学校、泉小学校でも、学習を支える生活面にも目が行くようになっていくようです。学び改善プロジェクトでも同様の意見が出てくるものと思われるので、それを充実させるよう努めていきたいと思います。本件については、今後、文科省に実施する旨を回答したいと思います。

9 報告事項

- 学校施設の耐震化の見直し及び耐震化状況の公表について（教育施設課）
- 第62回成人のつどいについて（社会教育課）
- 宮林遺跡第3次発掘調査の開始について（文化財保護課）
- 滝の城跡復元模型の展示について（文化財保護課）
- 富岡小学校児童の交通事故について（学校教育課）

(富田委員長)

市役所1階ホールに展示されている滝の城跡の復元模型を見て、すばらしいと感じた。テレビにも取り上げられたようだが、とても分かりやすく立体的で、想像をかきたてられるものであり、展示による効果を実感した。

また、富岡小学校児童の交通事故後、児童の下校時に通学路の交差点に地域の方が見守りに立っていただいているのを見て、事の重大さ、命の大切さを実感するとともに、地域の方々に感心した。

10 その他

- ・教育委員会1月定例会：1月29日（木）午後1時30分～ 602会議室
- ・教育委員会2月定例会：2月20日（金）午後1時30分～ 602会議室

11 閉会 午後2時55分

※ 閉会后、委員全員で当摩市長あて来年度の予算要望を行なった。